

梅鶯仏教壮年会報

第125号
2015年
5月24日

梅鶯仏教壮新役員決定

去る三月二十八日に、平成二十六年度の梅鶯仏教壮総会が開催され、新役員が左記の通り決定致しました。任期は平成三十年三月末までの3年間です。

また、平成二十七年年度の行事予定も併せて決定されました。

新会長

森勝昭氏

副会長	田中直樹氏
副会長	森英雄氏
会計	北村正隆氏
監査役	田中薫氏

平成二十七年年度行事予定

5月31日(日)	例会(5時半)
6月6日(土)	法輪寺永代経法要
7月26日(日)	例会(5時半)
9月(未定)	親睦旅行
11月28日(土)	報恩講
12月30日(水)	除夜会
1月30日(日)	例会(5時半)
3月26日(土)	総会・役員会

会長就任のご挨拶

森勝昭(釋勝俊)



平成15年6月1日に共にお念仏を悦び、互いに親睦を深め合うことを目的とした「梅鶯仏教壮年会」が結成され、今年で12年目を迎えました。結成までの準備段階から関わってきた一人として、多くの体験、学習など良き思い出が出来たと感謝しています。

本山参り、別院巡りの研修旅行など仏縁に遇えて、おかげさまで少しは成長しました。

3月の総会で第五代の会長に任命されました。

これまで皆様と共に築き上げてきた仏教壮年会の活動を続け、心豊かな人生を送りたいと願っています。

今年の秋には、研修旅行として山口・山陰地方に、金子みすゞさんのふるさとを訪ねての旅を計画しています。今から皆様、心の準備をしておいて下さい。

この一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

合掌

会長退任のご挨拶と御礼

前会長 田中善博



木々の緑も一段と色濃くなつてまいりました。皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、仏教は創設以来早くも12年が経ち、力不足の私が会長という大役をお受けして3年の任期を無事に終えることができました。

これも、ご住職様や会員皆様方のご支援、ご協力のお陰だと感謝申し上げます。

3年間を振り返ってみますと、「法輪寺親鸞聖人七百五十回大遠忌法要」、東京の築地本願寺参拝や京都のご本山参拝の研修旅行、恒例の例会等が思い出されます。

また、大晦日恒例の「除夜会竹灯籠の夕べ」等での郷土料理の田楽やおでん、自家製の漬け物・かぶらのお講汁等による親睦会も感慨深い思い出です。

そして、報恩講を法輪寺との合同で勤修させて頂いたことも大きな思い出です。

最後に、仏教の益々の発展を念じ上げ、退任の挨拶とさせて頂き合掌

題材法話

「人の命は地球より重い」昭和52年に日本航空の飛行機が日本赤軍にハイジャックされて、150人ほどの乗客が人質となり、どの身代金も1億円と、服役中の赤軍メンバー9人を釈放しなければ、人質を順番に殺す」と犯人から要求されるという、いわゆる「ダツカ事件」が発生しました。

その時に、時の総理大臣であった福田赳夫首相が「言ったのが、『人の命は地球より重い』という言葉でした。」

そして最終的に犯人の要求を飲み、人質が全員解放されたという事件でした。

○命の重さ

「イスラム国」と名乗る不気味な集団が、次からつぎへと人質を殺し、それをインターネット上で公開すると、実際に衝撃的なことが起こっています。

その残虐さも勿論ですが、なにか人を殺す、人の命を奪うということが、実に



軽く扱われている。このことと大変な恐ろしさを感じます。

「地球より重い」といわれた「人の命が」、鳥の羽よりも軽く扱われているように感じさせるところに、恐ろしさを感じるのです。

「イスラム国」を名乗る者達は、イスラムの教えに基づいて国を創っているのだと言ってますが、他のイスラム教徒からは「あ、これはイスラム教じゃない。本当のイスラム教徒はあのようなことではできない」と言われていて、宗教には確信も集団であることはいくつか目にも明らかです。

「イスラム教」は誰の目にも明らかです。敢えて言うならば、イスラム教にはあのような暴挙に走らせてしまう要素があることは、歴史的にも否定できないのではないのでしょうか。

その要素とは、けっして「イスラム教」ではなく、「一神教」であることとからです。

○「一神教」の成り立ち



「ただ一つの神しか認めない」と受け容れることはできない。「一神教」という考えです。ユダヤ教「キリスト教」と三つの宗教があります。

この三つの宗教が歴史的に、争いを繰り返して対立した、が、実はこの三つの宗教は、もと兄弟の関係にあり、唯一の神とするのも「ヤハウェ」「ゴッド」「アラベ」と呼び方こそ違え、すべて同じ神さまなのです。

「ユダヤ教」で、これが「旧約聖書」です。

そして、それまでユダヤ民族だけに閉ざされていた教えをイエスキリストが新しくして、新約聖書としたのが「キリスト教」なのです。

さらに神さまが、これまで言い残したことを全て伝える



最後の預言者としてムハンマドに伝えたとするのが「イスラム教」と呼びます。

したがってこの三つの宗教は、もとと神さまが一緒です。つまり、教えも基本は共通しています。

① まず、この地球も人間も、すべて神さまが創ったものだ」とし、

② 「この世界と私達の人生は、すべて神によつて支配されている」とします。

③ 「だから私たちは神の心にしたがって生きるべきことが大切なのだ」と説き、

④ 「死ねば神の審判があつて生きた者は天国に生まれ、そうでないものは地獄に堕ちる」と教えます。

ところがこの三つの宗教が、歴史的にこれまでしばしば対立し、争いを繰り返してきたのです。

神さまも同じで、教えもこんなに共通しているのに、何故争いになるのでしょうか。次号につづく

平成26年度総会住職法話